



【終了しました】
『六本木ライブラリー
小林麻実さんと考
える「図...」



イベント 終了しました

六本木ライブラリー小林麻実さんと考える「図書館は何のためにあるか」（「新しい図書館学」第1回）

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>2012年の日本の社会において、図書館はどのような役割を担い、何を期待されているのか？今、この時点で図書館に欠けているものは何か？災害、EU経済、国際政治、格差、人権、技術の進歩・・・。</p> <p>様々な変化が起こっている社会の中にある図書館として、変えなければいけないものと変えてはいけないものは何なのか？</p> <p>参加者全員で考えていくためのきっかけとして「アカデミーヒルズ六本木ライブラリー」の創設コンセプトと現状を紹介し、その後討議を行います。</p> <p>* 講師から事前に簡単な質問があります。詳細は申込み後にメールでご案内します。ご回答内容は講座当日に匿名の形で配布予定。</p>
日にち	2012年04月22日（日） 14:00から16:00

場所	4階 スタジオプラス (小ホール)
関連ファイル	セミナー資料<課題回答集> (閲覧は参加者のみ・当日配布も致します) セミナー資料<課題回答集追加>
定員	60名 (定員になり次第締め切り)
対象	図書館員、図書館情報学 (を目指す方)、その他どなたでも
参加費用	一般2,000円、学生1,000円
講師・出演者	小林 麻実 (アカデミーヒルズ六本木ライブラリー・アドバイザー)
プロフィール	<p>早稲田大学法学部卒業、同大学院国際経営学修士 (MBA) 課程修了。東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。同博士課程中退。</p> <p>マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、米国ユナイテッド・テクノロジーズ社において、世界15万人の社員による情報・知識の交換及び創出を目指し、ヴァーチャルライブラリーを推進。これらの経験からライブラリーを「個人が持つ情報を効果的に交換しイノベーションを生む仕組み・場」とするコンセプトを構築し、2002年に現職に就任。専門は組織と個人、情報、コミュニティ。</p> <p>論文「組織を離れた個人のためのコワーキングの場 - アカデミーヒルズ六本木ライブラリー」(2011)、著書『図書館はコミュニティ創出の「場」 - 会員制ライブラリーの挑戦』(勉誠出版、2009)</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館 図書フロア
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館 電話:03-3502-3340
申込期間	2012年02月01日 10:00 から2012年04月15日 23:59
申込方法	Eメール (college@hibiyal.jp) にて、講座名、お名前 (よみがな)、ご所属 (記入なし可)、お電話番号、Eメールアドレスをご連絡下さい。1階受付でも承ります。
関連リンク	日経Bizアカデミーの記事より 本講座についてサイト「東京図書館制覇！」で紹介されています
カレンダー表示	2012年 04月

	日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/> イベント開催日							
<input type="checkbox"/> 休館日	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

発信日 2012.01.31

印刷 リストに追加

ツイート